

平成 24 年度事業概況

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

1. 定時会員総会に関する事項

平成 24 年 5 月 31 日、日本アクチュアリー会 大会議室にて会員総会を開催し、

- 第 1 号 平成 23 年度事業概況に関する件
- 第 2 号 平成 24 年度事業計画（案）承認の件
- 第 3 号 平成 23 年度決算承認の件
- 第 4 号 平成 24 年度予算（案）承認の件
- 第 5 号 平成 24 年度会費分担に関する件
- 第 6 号 公益社団法人への移行に伴う定款変更等承認の件

を諮り、原案どおり承認された。

2. 会員の異動状況

本年度の会員の異動は、賛助会員については入会 2 法人、退会 1 法人、個人会員については入会 164 名、退会 124 名があり、平成 25 年 3 月末の会員数は、下表のとおりとなった。

入会賛助会員

NTT データシステム技術株式会社
日本コープ共済生活協同組合連合会 以上 2 法人

退会賛助会員

TW ジャパン株式会社 以上 1 法人

正 会 員	1,373 名
準 会 員	1,152
研 究 会 員	1,933
小 計	4,458
賛 助 会 員	113 法人
合 計	4,571 名・法人

3. 事業概況

〔試験関係〕

(1) 平成 24 年度資格試験の実施

平成 24 年 12 月 17 日、18 日及び 19 日の 3 日間、東京（TOC 五反田）及び大阪（天満研修センター）において実施し、平成 25 年 2 月 13 日に合格者を発表した。第一次試験の受験科目総数は 3,629 科目、うち合格科目数は 1,675 科目、第二次試験の受験科目総数は 852 科目、うち合格科目数は 112 科目、全科目合格者は 48 名であった。

(2) 教科書の改訂

「保険 1 第 2 章 解約および解約返戻金」を改訂した。

(3) 平成 24 年度 CERA 試験の実施

平成 24 年 10 月 3 日、東京（TKP 大手町カンファレンスセンター）において実施し、平成 25 年 1 月 16 日に合格者を発表した。受験者数は 68 名、うち合格者数は 10 名であった。

〔教育・研修・研究発表関係〕

(1) 平成 24 年度アクチュアリー講座の実施

平成 24 年 5 月 8 日から平成 24 年 10 月 4 日の期間、基礎講座 12 科目及び特論講座 8 科目を実施した。受講者数は基礎講座 103 名、特論講座 46 名であった。

(2) 平成 24 年度アクチュアリー追加演習講座の実施

平成 24 年 10 月 1 日から平成 24 年 12 月 4 日の期間、生保数理演習、損保数理演習、年金数理演習及びモデリング演習の 4 科目を実施した。受講者数は生保数理演習 29 名、損保数理演習 58 名、年金数理演習 33 名、モデリング演習 14 名であった。

(3) 平成 24 年度年次大会・IT 研究大会の開催

年次大会は、平成 24 年 11 月 5 日、6 日の 2 日間、経団連会館及び東京ステーションコンファレンスにおいて、IT 研究大会は、平成 24 年 11 月 21 日、22 日の 2 日間、三井生命本店（大手町野村ビル）において開催した。

(4) 例会の開催

① 平成 24 年 6 月 28 日

「価値協創時代の保険－日本発の金融イノベーションのために必要なこと－」
保井 俊之 氏（慶應義塾大学先端研究センター）

② 平成 24 年 7 月 20 日

「現在の環境における ALM の実務について」 ルネ・コッティング 氏 (RGA)

③ 平成 24 年 9 月 26 日

「Longevity（リスク）の引き受け」 アンドリュー・リア 氏（ミュンヘン再保険）

④ 平成 24 年 11 月 16 日

「エマージングリスクと複雑な集積リスク－保険業界へのチャレンジ」
ライナー・ザックス 氏（ミュンヘン再保険）

⑤ 平成 24 年 12 月 4 日

「複雑性の科学（Complexity Science）のリスク選好とエマージングリスクへの応用」
吉村 雅明 君（ミリマン・インク）

(5) ムーンライトセミナーの開催

① コピュラ関数入門

内藤 和晃 君（早稲田大学）

② Predictive Modeling in the Context of Internal Models and Risk Management

（内部モデルやリスク管理の手法としての“Predictive Modeling”）

Stephen Conwill 氏（ミリマン・インク）

③ 保険会社の最適資本配賦について

関口 健太郎 君（メットライフアリコ生命）

④ 損害保険における最近のトピックスと課題について

セミナー部会委員

⑤ アクチュアリアル プログラミング

門脇 大輔 君（ソニー生命）

濱村 文十 君（サンガード・ジャパン）

(6) プロフェッショナルリズム研修の実施

平成 25 年 2 月 18 日、正会員（今年度の資格試験で全科目に合格した準会員を含む）及び準会員（今年度の資格試験で基礎科目すべてに合格した者を含む）を対象に次の研修内容で実施した。受講修了者は、169 名であった。

IAA シラバスとプロフェッショナルリズム

村田 富生 君（三井生命）

アクチュアリーと行動規範について

奈良 伸一 君（明治安田生命）

生保のプロフェッショナルリズム

中村 亮一 君（日本生命）

損保のプロフェッショナルリズム

木村 和弘 君（日本興亜損害）

(7) CERA 研修の実施

平成 24 年 12 月 14 日及び 15 日の 2 日間、CERA 試験の受験者を対象に、リスク管理・ALM 等に関する講義やケーススタディによるグループワークを行った。受講修了者は 54 名であった。

〔調査・研究活動〕

(1) 標準死亡率諮問委員会の開催

平成 24 年 10 月 23 日に開催された第 18 回標準死亡率諮問委員会において、「生保標準生命表 2007（死亡保険用）」、「生保標準生命表 2007（年金開始後用）」及び「第三分野標準生命表 2007」について、平成 25 年度に継続適用することが了承された。

(2) 経済価値ベースのソルベンシー規制に係る技術的検討等

金融庁からの検討依頼に基づき、経済価値ベースのソルベンシー規制に係る技術的検討及び保険計理人の実務基準関係の課題に関する検討等を行い、報告書にまとめ、金融庁へ提出した。

(3) 国際会計基準・保険監督の国際基準への対応

国際会計基準及び保険監督の国際基準については、IASB（国際会計基準審議会）及び IAIS（保険監督者国際機構）において精力的な検討がなされており、それぞれの機関会員である IAA（国際アクチュアリー会）は、アクチュアリー専門職団体として、委託研究等の活動を行っている。本会は、IAA の委員会活動に積極的に参画するとともに、国際基準対策委員会等において検討を進めている。

(4) 実務基準の整備

- ① 「退職給付会計に関する数理実務基準」及び「退職給付会計に関する数理実務ガイドランス」については、企業会計基準委員会から平成 24 年 5 月 17 日に公表された「退職給付に関する会計基準」及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」の内容に沿う数理実務のあり方について検討し、平成 24 年 12 月に所要の改定を行った。
- ② 「全国共済水産業協同組合連合会の共済計理人の実務基準」については、水産業協同組合法施行規則の改正に対応するため、平成 25 年 3 月に所要の改定を行った。

(5) 委員会等の活動

各委員会・部会・研究会・ワーキンググループ・プロジェクトチームにおいて、上述の調査・研究を含む活発な活動を行い、その活動状況等を本会ホームページに掲載するとともに、調査・研究の成果としてまとめたものについては、本会ホームページ・会報別冊等を通じて公表した。

〔意見表明〕

(1) IAA のカウンスルでの投票（電子投票を含む）

- ① 平成 24 年 5 月、教育シラバスとガイドラインの改定等に関して、賛成として投票を行った。
- ② 平成 24 年 9 月、補助性の原則の解釈等に関して、賛成として投票を行った。

- ③ 平成 24 年 11 月、役員の交代等に関して、賛成として投票を行った。
- ④ 平成 25 年 3 月、機関会員・オブザーバー会員に関する方針を反映した定款及び内規の変更等に関して、賛成として投票を行った。
- ⑤ 平成 25 年 3 月、監査済の財務諸表（案）の承認に関して、賛成として投票を行った。

(2) IAA 迅速処理案件

次の案件に対する IAA 意見について、本会からは迅速処理適用に反対する意見は表明しなかった。

- ① 平成 24 年 7 月、IAIS グローバルにシステム上重要な保険会社（G-SIIs）の選定方法
- ② 平成 24 年 8 月、IAIS 国際的に活動する保険グループ監督のための共通の枠組み
- ③ 平成 24 年 8 月、IAIS 保険コアプリンシプル 9（監督レビュー及び報告）の修正に関する草案
- ④ 平成 24 年 8 月、IAIS 包括的な保険市場をサポートする規制・監督に関するアプリケーションペーパーの草案
- ⑤ 平成 24 年 12 月、IAIS グローバルにシステム上重要な保険会社（G-SIIs）の政策措置
- ⑥ 平成 25 年 2 月、欧州アクチュアリー会（Groupe Consultatif）アクチュアリー実務基準 2 ～ソルベンシー II 指令下でのアクチュアリーファンクションレポート～の公開草案

〔国際関係〕

(1) IAA 活動

平成 24 年度末現在の本会の IAA 委員会の委員等は次のとおりであり、IAA の委員会活動に積極的に参画している。

Council Delegate	五十嵐 勉 君	Insurance Accounting Committee	中村 吉男 君 田口 茂 君
Presidents' Forum	野呂 順一 君	Education & Practice Subcommittee	中村 吉男 君 田口 茂 君 橋本 英司 君
Alternate Delegate Correspondent	中野 陽介 君	Insurance Regulation Committee	橋詰 信介 君
Executive Committee	吉村 雅明 君	Reinsurance Subcommittee	河野 年洋 君
Strategic Planning Subcommittee	坂本 純一 君	Solvency Subcommittee	河野 年洋 君
Regulated Profession Task Force	河野 年洋 君	ComFrame Task Force	河野 年洋 君 橋詰 信介 君
Actuarial Standards Committee	中村 亮一 君	Pensions and Employee Benefits Committee	小野 正昭 君
ERM Task Force	吉村 雅明 君	Professionalism Committee	吉村 雅明 君
Insurance Accounting Task Force	中村 吉男 君 田口 茂 君 橋本 英司 君	Social Security Committee	坂本 純一 君
Social Security Task Force	坂本 純一 君	Mortality Working Group	西村 泰介 君
Accreditation Committee	五十嵐 勉 君	ORSA Working Group	河野 年洋 君
Advice and Assistance Committee	辻 芳彦 君	Population Issues Working Group	坂本 純一 君
Asia Subcommittee	吉田 英幸 君	ASTIN	森本 祐司 君
Education Committee	村田 富生 君	IAALS	辻 芳彦 君
Enterprise Financial Risk Committee	吉村 雅明 君	PBSS Section	坂本 純一 君

(2) 第40回東アジア・アクチュアリー講座 (ASEA) の実施

平成24年9月24日から27日までの4日間にわたり、東アジアを中心とする7地域から22名の参加を得て、アクチュアリーが関わる日本の諸制度の状況等についての講義を実施した。

(3) 国際会議等への派遣等

次のとおり国際会議等に会員を派遣した。

- ① 平成24年5月6日～9日 IACA・PBSS・IAAHS コロキアム (於：香港)
杉田 健 君、坂本 純一 君、吉田 英幸 君、小野 正昭 君
- ② 平成24年5月22日～26日 IAA 会議 (於：アメリカ ロサンゼルス)
五十嵐 勉 君、野呂 順一 君、坂本 純一 君、吉田 英幸 君、小野 正昭 君、吉村 雅明 君、
河野 年洋 君、橋詰 信介 君、中村 吉男 君、田口 茂 君、橋本 英司 君、辻 芳彦 君、
西村 泰介 君、中野 陽介 君
- ③ 平成24年9月27日～29日 IAIS ソルベンシー小委員会 (於：シンガポール)
河野 年洋 君
- ④ 平成24年10月1日～4日 ASTIN・AFIR/ERM・IAALS コロキアム (於：メキシコ メキシコシティ)
森本 祐司 君、山下 実若 君
- ⑤ 平成24年10月8日～12日 IAIS 年次大会 (於：アメリカ ワシントンD.C.)
河野 年洋 君
- ⑥ 平成24年10月14日～17日 SOA 年次大会 (於：アメリカ ワシントンD.C.)
阿比野 裕 君
- ⑦ 平成24年11月9日 第17回 EAAC 準備会議 (於：シンガポール)
中野 陽介 君、長舟 貴洋 君
- ⑧ 平成24年11月11日～14日 CAS 年次大会 (於：アメリカ オーランド)
斉藤 正彦 君
- ⑨ 平成24年11月12日～14日 IAIS ソルベンシー小委員会 (於：アメリカ ワシントンD.C.)
河野 年洋 君
- ⑩ 平成24年11月14日～18日 IAA 会議 (於：バハマ ナッソー)
五十嵐 勉 君、坂本 純一 君、小野 正昭 君、吉村 雅明 君、河野 年洋 君、中村 亮一 君、
村田 富生 君、中村 吉男 君、辻 芳彦 君、中野 陽介 君

(4) Global ERM Webcast

平成25年1月22日～2月5日に行われたERMに関するWebinarの開催にSOA等とともに参画した。

〔評議員会〕

- (1) 平成25年3月7日に平成24年度評議員会を開催し、平成24年度事業概況(案)、平成25年度事業計画(案)、アクチュアリー教育の充実について審議した。

〔産学共同〕

- (1) 京都大学より保険数学及び年金数理の講師派遣の依頼があり、浅野 淳 君(住友生命)、上原 尚 君(住友生命)、大嶋 孝造 君(住友生命)、松村 隆巳 君(大同生命)、片寄 郁夫 君(りそな銀行)、豊留 健 君(日本生命)、中山 素生 君(日本生命)及び南 嘉博 君(日本生命)を派遣した。
- (2) 大阪大学より保険数理の講師派遣の依頼があり、浅野 淳 君(住友生命)、堀井 俊宏 君(大同生命)及び山内 宗幸 君(日本生命)を派遣した。

- (3) 神戸大学より保険数理の講師派遣の依頼があり、浅野 淳 君（住友生命）を派遣した。
- (4) 東京大学より社会数理特別講義の講師派遣の依頼があり、中村 亮一 君（日本生命）を派遣した。
- (5) 大学間連携共同教育推進事業に関して構築される「統計教育大学間連携ネットワーク」の外部評価委員会に、杉田 健 君（三井住友信託）が委員として参加した。

〔表彰関係〕

(1) 平成 23 年度資格試験成績優秀者の表彰

① 理事長特別賞・理事長賞の授与

平成 24 年 5 月 31 日に、遠藤 史博 君（日本生命）に理事長特別賞を、北原 悠 君（日本生命）及び柴田 大樹 君（日本興亜損害）に理事長賞を授与した。

② 科目別成績優秀賞の授与

同日、次の 5 名を表彰した。

小島 健一郎 君	（あいおいニッセイ同和損害）	数学
谷田 篤史 君	（アクサ生命）	生保数理
小野 剛 君	（りそな銀行）	損保数理、会計・経済・投資理論
遠藤 史博 君	（日本生命）	生保 1
藏城 賢二 君	（ピーシーエー生命）	生保 2

(2) 優秀論文の表彰

① 平成 24 年 11 月 5 日、年次大会において、次の優秀論文を表彰した。

「死亡率の将来推計の一方法 — 数学的モデルを用いた死亡率の将来推計 —

荒井 昭 君（明治安田生命）

② 平成 24 年 11 月 21 日、IT 研究大会において、次の IT 関係優秀論文 2 編を表彰した。

「確定給付企業年金制度管理業務の事務品質向上・効率化について」 IT 研究会第 4 グループ

「保険会社のグローバル展開に対応する IT 戦略」 IT 研究会第 7 グループ

〔広報・出版活動〕

(1) 広報活動

① 学生向け冊子「アクチュアリー — その活躍の紹介 —」の配布

② 学生を主な対象とした「アクチュアリーセミナー」を平成 24 年 10 月 20 日に東京で、12 月 1 日に大阪で開催した。

(2) 会報等の刊行

次のとおり会報をはじめ各種の刊行物を発行した。

- ① 会報 第 65 号
- ② 会報別冊 第 259 号 「平成 23 年度資格試験問題集」
- 第 260 号 「オペレーショナル・リスク管理の新手法
～2008 年の世界金融危機の根底にある諸問題の考察～」
- 第 261 号 「アクチュアリー業務における R の活用」
- 第 262 号 「第 52 回 IT 研究大会報告」
- ③ アクチュアリージャーナル 第 80 号～第 83 号、特別号「リスクと保険」

〔関西支部〕

(1) 支部総会

平成 24 年 5 月 28 日、りそな銀行 本社にて支部総会を開催し、
第 1 号 平成 23 年度事業概況に関する件
第 2 号 平成 23 年度決算および平成 24 年度予算（案）承認の件
第 3 号 平成 24 年度事業計画（案）承認の件
を諮り、原案どおり承認された。

(2) 関西支部例会の開催

- ① 平成 24 年 7 月 27 日
「企業年金のリスク管理」 藤澤 陽介 君(ライフネット生命)
- ② 平成 24 年 11 月 19 日
「賃金と社会保障のベストミックス」 濱口 桂一郎 氏(労働政策研究・研修機構)
- ③ 平成 25 年 2 月 28 日
「最近までの年金政策」 小野 正昭 君(みずほ年金研究所)
- ④ 平成 25 年 3 月 21 日
「平成 24 年度関西支部分科会活動報告」 各分科会より報告

(3) 関西支部研究会活動

次の 4 分科会において研究調査活動を行った。

保険計理分科会 委員長 安宅 大介 君（日本生命）
海外年金研究会 委員長 山内 宗幸 君（日本生命）
年金分科会 委員長 高木 寛道 君（りそな銀行）
システム分科会 委員長 若宮 大輔 君（あいおいニッセイ同和損保）

また、関西支部の会員がより専門分野の知識を身につけることを目的としたセミナー（関西セミナー）を 2 回開催した。

- ① 平成 25 年 1 月 16 日
「基金及び基金償却積立金に関する諸問題」 我妻 佳祐 君(京都大学)
- ② 平成 25 年 2 月 15 日
「米国と日本における基礎率設定方式の差異とその背景」、
「死因除去による平均余命の伸び～コピュラを用いて～」、
「MCMC 法による生存率の予測と分析」、
「英国の確定給付型企業年金から見る長寿リスクのヘッジ方法」
京都大学保険ゼミ学生

(4) 関西支部アクチュアリー講座の実施

関西支部において次のとおりアクチュアリー講座を実施した。

受講者数	講 師
生保数理（8～10 月）	9 名 堀井 俊宏 君（大同生命）
年金数理（8～10 月）	9 名 日野 真由 君（りそな銀行）
損保数理（8～10 月）	10 名 恒川 啓之 君（日本生命）